



鈴鹿国際大学短期大学部 鈴友会会報 卒業記念号
平成 18 年 3 月 18 日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴友会会長

増田 文子

(昭和 44 年度卒業)

ご卒業、誠におめでとうございます。卒業される皆様に「共生」という言葉を贈りたいと思います。昨今の経済的發展に伴い、勝ち組みとか、負け組みとかに識別したり、それに付随して他の部門においても似通った色分けをする傾向性がみうけられます。しかし、どのような立場の人、企業であれ、そのもの持っている使命、存在価値というもの、尊重されるべきであり、遵守すべきであると思います。他を慈しみ、周りの人たちに目を向けるということは、ひいては、自分も巡りめぐって他より守られる関係が生まれていくものであると、私は確信します。今後、いろいろな壁にぶつかり、困惑することがあるでしょう。そのような時は、どうか鈴友会を思い出して下さい。私達、同じ学び舎で育った絆がきっとあるはずです。ご活躍、ご健闘を祈ります。そして、日々楽しんで下さい。たった一度の人生です。晴れやかに、のびやかに。



鈴友会顧問・副学長

堀 敬紀

ご卒業を心よりお祝い申し上げます。また保護者の皆様方には卒業生に対し在学中ご支援、ご愛護賜りましたことは感謝に耐えません。誠に有難うございました。

ご承知のように本学は平成 18 年 4 月より校名を変更し、「鈴鹿短期大学」となります。下記のように、北海道から沖縄まで全国津々浦々から 6,685 名の卒業生がいます。その大半が職業人として活躍されておられます。本学の歴史も本年をもって 40 周年を迎えます。開学当時の家政学科から生活学科と名称変更し、生活学専攻・食物栄養専攻・こども学専攻と内容は変わっておりますものの衣食住と教育、つまり人間の根源的要素に係わってきたことは一貫しております。この足跡を尊重して校名を戻すことに致しました。今後も更に充実、発展するべく教職員一同努力を惜しまない所存です。

卒業生の皆様におかれても本学の卒業生であることを誇りに、健康に留意され朗らかに健全に社会の一員として活躍されることを祈念致しております。

会員数は 6,685 名になりました

北海道	17	神奈川県	22	大阪府	60	福岡県	8
青森県	7	山梨県	4	兵庫県	41	佐賀県	5
岩手県	14	長野県	87	奈良県	32	長崎県	9
宮城県	10	新潟県	65	和歌山県	48	熊本県	16
秋田県	11	富山県	38	鳥取県	9	大分県	13
山形県	5	石川県	53	島根県	18	宮崎県	8
福島県	18	福井県	55	岡山県	9	鹿児島県	11
茨城県	16	岐阜県	120	広島県	24	沖縄県	31
栃木県	10	静岡県	263	山口県	9	中国	2
群馬県	6	愛知県	561	徳島県	9	台湾	1
埼玉県	15	三重県	3235	香川県	5	不明	1295
千葉県	22	滋賀県	255	愛媛県	7	計	6685
東京都	29	京都府	67	高知県	10		

昭和 43 年に 29 名で鈴友会が誕生。

そして、今皆さんを迎えて、6685 名の会員になりました。

卒業して社会人の第一歩を踏み出そうとしている今は前途洋々。しかし、時を経て、子育てを終え、仕事に一区切りついたころ、ふと、友人や学舎の思い出がなつかしく、人恋しくなる日が来ると思います。

そんな日のために、暖かく包める同窓会を皆さんとともにつくっていきたいです。

巣立つ皆さんへ・・・贈る言葉

ご卒業おめでとうございます。新しい門出を心からお祝い申し上げます。凝縮されたカリキュラムの中、忙しくも充実した日々を送られたことと思います。輝く笑顔で声をかけてくださる皆さんに、私は毎日のように元気をいただきました。卒業後、社会にでること未知の世界に戸惑うこともあるとは思いますが、皆さんが短大生活の中で、努力を続けたからこそ得た知識、共に学び遊んだ仲間との時間は必ず皆さんの支えになります。積み重ねを忘れず、今後もさらに飛躍されることを願っています。

米田 綾夏(平成 15 年度卒業 養護教諭・福祉コース)

2年間という短い期間の中、過密な授業をこなし、2度の校外実習や卒論をやり遂げた日々は、本当に充実した時間であったことと思います。一緒にできたのはほんのわずかな授業でしたが、皆さんの物事に対する熱心さ、人に対する謙虚な姿勢、そして一人ひとりの大変魅力のある個性には、本当に心惹かれるものがありました。素晴らしい能力と知識を兼ね備えた皆さんが、それぞれの進路先でご活躍されることを、心よりお祈り申し上げます。ご卒業、本当におめでとうございます。

野口 真里(平成 16 年度卒業 養護教諭・福祉コース)



私の母校である本学にて仕事をさせていただく間に、早いもので2年が経ちました。

私自身2回目の卒業式を迎えるような気持ちです。就進課では、本学から新しい世界へスタートされる皆さんの就職活動をお手伝いさせていただきました。

実社会へのスタートは不安な気持ちでいっぱいになるかもしれませんが、自分の在り方ひとつでどのようにならぬのが現代の社会です。月並みな言葉で恥ずかしいけど、どうぞ頑張ってください。

山本 典子(昭和 60 年度卒業 栄養士コース)

ご卒業おめでとうございます。2年間という時の流れのはやさを実感しています。

いろいろな食べ物があふれている今日、食生活が乱れている人が増えていますが、皆さんはどうですか？最後に一句を贈ります。

『明日の活力 生みだす健康

日々の食事が 物を言う』

食事と健康は密接な関係があります。日々の食事を大切に、これからの人生を元気に過ごしてください。

川村 亜由美(平成 10 年度卒業 栄養士コース)

ご卒業おめでとうございます。それぞれの夢を持ち2年という限られた期間での資格取得は大変努力されたことと思います。思い返してみると、私は全てのコースの皆様と演習や実習を通じて関わりがあり、そして私が共通して感じたことは「人を思いやることができる」方々ばかりだということです。これからは、いろいろな人々と出会う機会が沢山あるでしょう。人との出会いを大切に、人を思いやる気持ちを忘れずに、それぞれの道でご活躍されることをこの鈴鹿から祈っています。

藤原 いすず(平成 11 年度卒業 栄養士コース)

幹事紹介

生活学専攻

遠藤 弥菜恵・宮田 理子

位田 円・木下 晴加

食物栄養専攻

門谷 林訪・渡邊 久美子

鈴友会事務局便り

会報 Bell Friend を皆さんのお手元に送付しますので、送付先の変更がありましたら、事務局へ連絡をお願いします。幹事の方々は時々クラス会を開催して、近況を把握してください。クラス会報告、近況報告、随時受け付けております。みんなで楽しい会報を作りましょう。